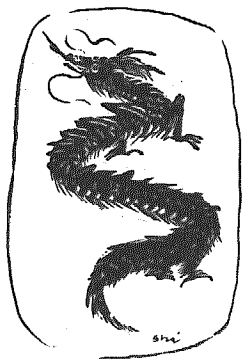


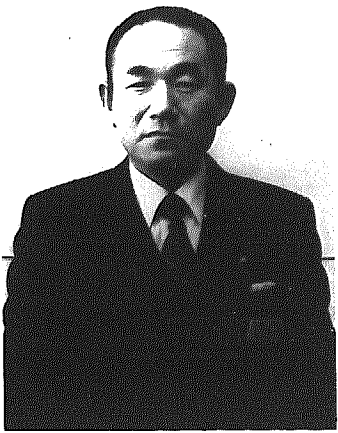
あけまして

おめでとごぶせうございます



総仕上げの年を迎え、  
町民の皆さんの理解を得、  
与えられた職責に全力投球

町長 青木太一郎



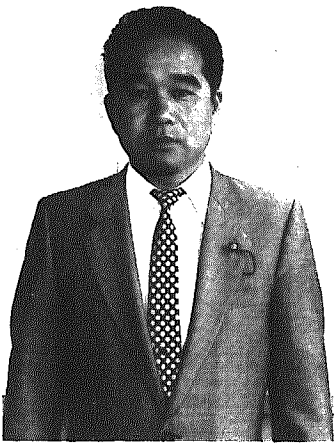
新年明けましてお目出(めでた)うございます。昨年は皆様には大変にお世話様になり、心から感謝申し上げます。  
特に、私には風雪の強い一年間でありました。所在不明の怪文書によるあらぬ疑いで大変にご迷惑をおかけし、心静かに反省し、やがて潔白が証明されるものと固く信じつつ、如何に踏みつけられようとも、町民の理解と協調を図り乍ら、与えられた職責に全力投球する決意でありますのでご休心下さい。  
さて本年は総仕上げの年であります。三年間国県に強力に働きかけ、関係各機関のご協力により、大幅な補助金の獲得に成功し、市町村財政の安定目途となる、公債比率を59年度16・6%を60年度15・3%に61年度は14・4%、62年度は14%台に安定させ、国や県の信用度を高め、町民のあらゆる英知を結集し高速交通時代に対応した、県都新潟市の表玄関にふさわしい、人と産業の調和した、第三次総合計画実施の基礎造りをしたいと思っております。  
この様な現況の中で、町の将来を考え一流企業数社の進出を実現し、財源の確保のため今後とも企業誘致のため条件整備を進め、精一杯努力する所存であります。  
健全財政を維持し乍ら、生活環境の改善のため、道路網の整備をはじめ、下水道事業も



着々と進め、農村モデル事業の進展、社会福祉の増進、商工振興対策の推進など皆様の理解と協力のもとで、鋭意努力するものであります。又、教育行政でも関係する皆様と充分話し合い、校舎増改築、校地拡張を限られた財源を活かし乍ら計画的に進めております。  
更に行政の複雑多様化に伴い、新潟市を中心に近隣市町村との機能分担が重要課題であり、市町村サミットを軸に、連絡を密にし皆様のニーズに応えたいと思っております。  
限られた紙面で充分に意をつくせませんが行政報告などを参考にされ、今後ともご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げますと共に皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

厳しい状況の中、  
町民の期待にそえるよう  
議決機関の機能を十分に発揮

議長 野崎 太策



輝かしい新春を迎えるに当り、黒埼町議会を代表して町民の皆様にご挨拶申し上げます。  
浅学非才ながら昨年六月町議会において、はからずも議長の重責を負うこととなり、今更ながら、その使命の重大さを痛感いたしております。その後、私は、先輩諸氏の御協力を得、議会の円滑な運営と町民の皆様の声が町政に反映されるような状況づくりのためにひいては町政の伸展のため努力を続けてまいりました。  
昨年は、交通事故の発生が目立ち特に本町は死亡事故が多発し町では全町あげて交通事故死亡事故抑止緊急対策本部を設置し、これに対応いたしております。一方昨年は、経済の低成長の中で内需拡大が大きく叫ばれているものの、中小企業にあつては、円高、ドル安の影響をまろに受け、大きな打撃を受けています。行政面では、国の行政改革により国庫負担金、補助金の削減など一定の制約が加えられております。これらの影響により地方自治体の財政は大きな圧迫を受け社会福祉や教育及び公共事業等に大きな支障となっており、地方財政の危機的様相が更に深刻化の一途を

たどるなかで暮れました。  
一方、町民の皆様が町政に対する要望は、益々高まっております。このような状況の中で迎えた昭和六十三年は、黒埼町にとって極めて重要な年になると思われます。  
本町においては、人口の急増に伴う社会施設の整備や教育環境の整備、社会福祉など重要な諸問題に対応するにはあまりにも厳しい財政状況であります。しかし、私共議会といたしましては、国、県に対しその対策を強く働きかけ福祉施策の改善、教育費の国庫負担制度の維持、教職員定数増、国民健康保険制度の改善、道路整備財源の確保について、意見書を決議し関係官庁へ提出をしましりました。  
議会はまた、執行機関とも相協調して、財政の許す限り最大限の行政効果をあげるため議決機関の機能を十分に発揮しつつ、町民の皆様への御期待にそうよう努めてまいります。  
どうか、本年もより一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。昭和六十三年が町民の皆様にとりましても幸せな年でありませうようお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年のお祝いを申し上げます

- |     |      |     |    |    |    |    |     |    |    |    |
|-----|------|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|
| 久資好 | 三枝幸夫 | 勝充子 | 博郎 | 昌雄 | 勇耕 | 三繁 | 弘衛  | 吉郎 | 男一 | 康男 |
| 一忠兼 | 健和仁  | 一輝  | つ豊 | 太弘 | 重  | 信  | 武由留 | 次  | 三年 | 行博 |
| 岡尾田 | 藤戸山  | 矢賀際 | 辺  | 間尾 | 野橋 | 橋川 | 際川  | 井際 | 際  | 苅橋 |
| 富鷲宮 | 伊明横  | 大志山 | 渡風 | 鷲岩 | 高高 | 白山 | 黒永  | 山山 | 保藤 | 江坂 |
| 富鷲宮 | 高高山  | 黒永山 | 山山 | 保藤 | 江坂 | 高佐 |     |    |    |    |
| 役入  | 長員   | 員員  | 員員 | 員員 | 員員 | 員員 | 員員  | 員員 | 員員 | 員員 |
| 助収  | 副議   | 議   | 議  | 議  | 議  | 議  | 議   | 議  | 議  | 議  |
| 教育  | 長員   | 員員  | 員員 | 員員 | 員員 | 員員 | 員員  | 員員 | 員員 | 員員 |

